

川内原子力発電所 温排水影響調査結果の概要

[令和 7 年度冬季調査]

令和 8 年 9 月 9 日
水 産 振 興 課

1 調査結果の概要

過去の調査結果と比較すると、温排水の拡散範囲、水温・塩分・流況、主要魚類及び漁業実態調査のごち網の漁獲量については、「昭和 58 年度（発電所稼働開始後）～令和 7 年度」の変動の範囲内であったが、バッチ網の漁獲量は昭和 58 年度（発電所稼働開始後）以降で最も少なかった。

2 調査の目的

安全協定書に基づき川内原子力発電所から排出される温排水が周辺海域に与える影響を的確に把握する。

3 調査の体制

調査は「鹿児島県海域モニタリング技術委員会」の指導、助言のもとに県水産技術開発センターが実施した。

4 調査内容および実施時期

表 1 令和 7 年度冬季調査調査一覧

調査項目	調 査 の 内 容	調 査 実 施 時 期
1 水温・塩分	(1) 水平分布 (2) 鉛直分布（水温のみ）	令和 8 年 3 月 2 日 令和 8 年 3 月 2 日
2 流 況	(1) 25 時間調査 (2) 15 日間調査	令和 8 年 3 月 2 日～3 月 3 日 令和 8 年 2 月 16 日～3 月 2 日
3 主要漁獲 及び 漁業実態	(1) イワシ類（シラス） バッチ網 (2) マダイ・チダイ ごち網	令和 7 年 1 月～12 月（周年） 令和 7 年 4 月～12 月